

決意と感謝を込めて... 読者プレゼント

新装刊直前 Present

21世紀を目前にして、次号からマガジンXがいっそうパワーアップ! 創刊160号を数える「新装刊号」直前の、スタッフの決意と読者のみなさんへの感謝を込めて、レアものから取材の「お土産」までドドド〜とプレゼント。応募ハガキのアンケートに答えて、ドンドン応募してくれ!



E&Oオリジナルブローチ(右)
E&Oオリジナルブレスレット(左)

10月号に掲載した「スタン&オリエンタル・エクスプレスのオリジナル・グッズ」の中から、取材班・神領編集長が厳選した一品を、高級感あふれるアクセサリなのだ。

各1名



デスバレーTシャツA[Lサイズ] (右)
デスバレーTシャツB[Mサイズ] (左上)
デスバレーTシャツC[Lサイズ] (左下)

10月号「デスバレー」特集遠征隊が選んだ、デスバレーTシャツ各種。Bタイプはバックプリント。Cタイプはバックプリントで鮮やかな色が出る。アメリカンサイスなので注意してね。

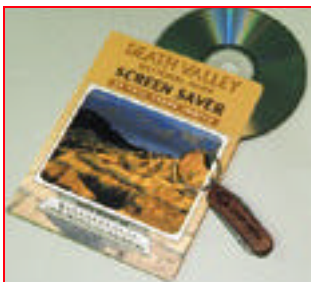
各1名



エリア51TシャツA[Lサイズ] (左)
エリア51TシャツB[Mサイズ] (中央)
エリア51TシャツC[Mサイズ] (右)

これもデスバレー遠征隊が調達してきた、エイリアン騒動で有名なエリア51のTシャツ。どれもネバダでしか手に入らない(?)レアものはかりだ。Cタイプはバックプリント。

各1名



デスバレー・スクリーンセイバーCD-ROM
デスバレー・ミニナイフキーホルダー

デスバレー、ファナスクリーク・ランチのストアで見つけたグッズ。砂漠の風景が20シーン楽しめるスクリーンセイバーはWindows95または98に対応。

各1名



ROAD & TRACK誌オリジナルステッカー

本誌提携誌でもあるアメリカの自動車専門誌「ロード&トラック」編集部から切り文字のオリジナルステッカーをフルとホワイトの2色、大小2サイズをセットでこれもレアかな。

セットで 5名



ビデオソフト「WRC Rd.6アルゼンチン/Rd.7アクロポリス」
ビデオソフト「WRC Rd.8ニュージーランド」
ビデオソフト「DTM Rd.1ホッケンハイム/Rd.2オッシャースレーベン」
ビデオソフト「DTM Rd.3ノリスリンク/Rd.4ザクセンリンク」

株式会社エフソフトからハヨ系モータースポーツのビデオソフト4種をプレゼント。WRCとDTM、闘つフィールドは違うけど、どちらも迫力の走りは保証付きだ。

各3名



日産グロリア・フォトフレーム

ディーラーノベルティのグロリア・ネーム入りフォトフレーム。クルマの写真を代わりに恋人や家族の写真を、左右にスイングするのがカワイイ。

1名



VWポロ・1/87ミニチュアカー

5月にフェイスリフト版を日本市場に導入したVWポロ、HDSケールの精巧なミニチュアカーも、もちろん最新の姿は、フルとクリーン、どちらが当たるかはあそび。

2名



ノスタルジ屋特製SKYLINEポストカード [8枚セット]

自動車関連の書籍・資料やボストカード、小物の専門店「ノスタルジ屋」から、スカイライン誕生20周年記念の貴重なボストカードを小さく再現したボストカードセットを5名様に。

5名

応募要領

プレゼントご希望の方は57ページにある折り込みハガキに必要事項とアンケートをご記入の上、そのままポストへご投函ください(切手はいりません)。記入事項に漏れがある場合は無効となる場合がありますので、忘れずにご記入ください。締め切りは10月30日(当日消印有効)とさせていただきます。なお、特別プレゼントとして応募者全員の中からさらに30名様にマガジンX特製テレカもプレゼントします。

MAG X
新装

マガジンXは
12月号からもっと
POWER UP
します!

創刊以来160号となる12月号から、マガジンXがいちだんとパワフルに変身します。9月号から神領編集長が復帰、スクープ班ほかスタッフ全員が「新装刊」に向けてフル加速中! この勢いで21世紀へ突入準備中です。ご期待ください。

ちょっとだナ「新装刊」号のメニューを.....

- さらにスクープ盛りだくさん!
 - 伝説の社会派執筆陣が大学復活!
 - コンシューマーズテストもBIGに復活!
 - 新連載、新装開店企画も目白押し!
-もう、誌面からハミ出しちゃいそう

読者の皆様へ もっとスクープ魂を もっとマガジンXへ

マガジンXが12月号から、さらにパワーアップします。すでに賢明な読者の皆さまはお気づきのとおり、9月号からそれまで以上に、国産車スクープのページを増強、さらに社会派スクープ記事も一般ユーザーにとって「明日は自分の身にふりかかるともれない」出来事を積極的に取材・掲載しています。マガジンXが創刊以来、15年以上に渡って堅持してきたこの姿勢をさらに具体的に誌面に展開すべく、21世紀を目前にした今、

改めて世に問うのが、「新装刊」マガジンXです。「もっとスクープ魂を もっとマガジンXへ。国産車を中心とするスクープをもっと載せたい! 本当に困っているひとりのユーザーの力になりたい!」

カーメーカー、行政当局をはじめとした大きな組織に決しておもねる事なく、マガジンXの唯一の支持者である読者の皆さまにとって、真に価値ある必要とされる雑誌を目指して、読者の皆さまとともに記事を作っていく。このマガジンXの姿勢は21世紀も不変です。丸4年ぶりに復帰した神領の9月号からのマガジンX読んでくれるかな? 応援して下さい。(本誌編集長・神領貢)